

■ SL-GMS の比類なくコンパクトで高速な Java 技術が、Web 環境における複雑なネットワーク監視を現実的なものに

従来のスイッチ・ネットワークから無線や IP ネットワークへの移り変わりで、最大数百だった管理ノード数も、数千～1万以上に増えています。複雑化するネットワーク管理のビジュアル化を、インターネット環境においても現実的なものにしたのが、SL-GMS J/DeveloperとJ/Netのコンパクトで高速な Java シンクライアント技術です。

その圧倒的な高速さと柔軟性でリードする SL-GMS J/Net は、ネットワークサービスの提供と QoS 管理、ネットワーク資産管理、OSS パフォーマンス・モニタリングなどで、幅広く採用されています。

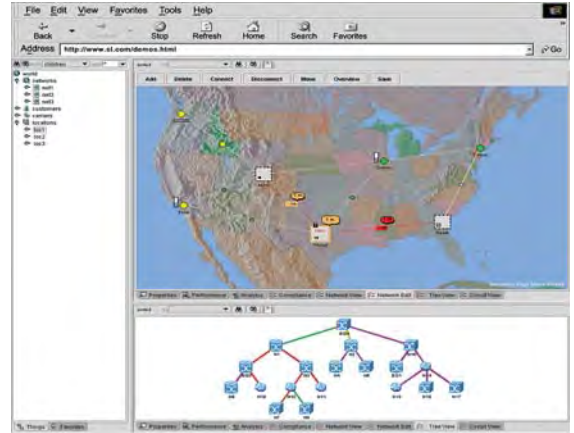
ホームページ <http://www.sl-j.co.jp> の Java アプレット・デモで、ぜひそのサイズと対話性の速さをご確認ください。



SL-GMS J/Net ハイライト

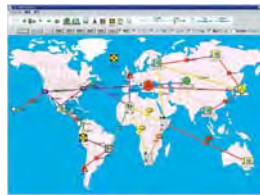
J/Net は、SL-GMS J/Developer の拡張オプション製品で、ネットワーク管理アプリケーションの高性能な Java GUI を迅速に開発できます。

- 実行時のデータに基づき、ノードとリンクを地図上にダイナミックにインスタンス。
- 接続性を維持したノードの選択、移動、削除、追加など、エンドユーザが実行時にネットワーク・トポロジーを編集。
- SL-GMSDraw ダイナミック・グラフィック・エディタで、独自のノードや機器ビューを作成、または Visio、ビットマップ、Windows メタファイルなどのさまざまなソースからインポート。
- 高速なズーム/パン、ネットワークの集約・展開、詳細情報(ラックやカード)へのドリルダウンなど、高度なナビゲーション機能。
- Shape や DXF ファイルなどの地図ソースからデータをインポートし、コンパクトな Java クラスに変換。
- SL-GMS Custom Editor オプション製品で、柔軟性が極めて高い「記号エディタ」や「地図エディタ」などをカスタム・メイドしてエンドユーザに提供可能。
- 極めてコンパクトで高速な Java アプリケーション/アプレット・コード生成による真のシンクライアント技術によって、アプリケーションの性能を最適化。
- ネットワーク記号ライブラリ集。
- AWT, Swing, XML のサポート。



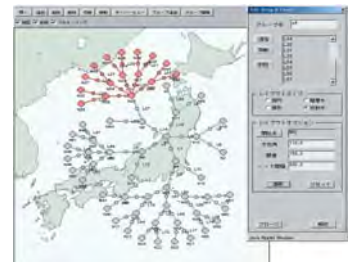
●物理ネットワーク・ビュー画面

SL-GMS J/Net で、地図上にノードとリンクを表示するアプリケーションを迅速に開発できます。



●論理ネットワーク・ビュー画面

SL-GMS J/Net のロジカル・レイアウト・マネージャで、グリッド、ツリー、環状、スプリングなどのさまざまな論理ネットワーク・ビューを作成できます。



●SL-GMSDraw ダイナミック・グラフィック・エディタ

SL-GMS J/Net では、SL-GMSDraw エディタで独自のグラフィック・ネットワーク・ノードとアイコンを容易にインポートしたり作成することができます。

アプリケーション開発から独立した SL-GMSDraw エディタによる迅速なプロトタイプイングによって、要求仕様やデータ・モデルの変更にも容易に対応でき、開発・保守で大幅な工数削減を実現します。



●ネットワーク機器ビュー画面

SL-GMSDraw エディタで、動的振る舞いを持った機器画面を作成、または Visio やビットマップなどの種々ソースからイメージをインポートし、動的振る舞いを付加することもできます。



ネットワーク管理アプリケーションのビジュアル化に SL-GMS

リアルタイム監視制御システムのビジュアル化で業界をリードする、米国 SL 社開発グラフィカル・モデリング・システム「SL-GMS」は、その C++/Net 製品がこれまで世界の NOC (ネットワーク・オペレーション・センタ) をはじめとするネットワーク・オペレーション監視システムの数々で使用されてきました。さらに昨今の OSS (オペレーション・サポート・システム) / ネットワーク管理システムでは、SL-GMS J/Developer とその拡張製品である J/Net が、その Web ベース Java GUI として採用されています。

世界の NOC で活躍する、SL-GMS C++/Net



SL-GMS C++/Net は、ネットワーク管理アプリケーションのリアルタイム・ダイナミック GUI 開発を目的とした、C++/Developer の拡張オプション製品です。C++/Net の地図画面ならびにノード接続管理機能は、ランタイム・ライブラリから呼び出すことができ、それぞれ構成ファイルで管理してポイント&クリック形式のインターフェースまたはアプリケーション・レベルの API で、実行時に制御することが可能です。

- アプリケーション・データベースからノードとリンクを動的にインスタンス。
- 警報やトラフィック量など、アプリケーション変数に応じて色や形状がリアルタイムに変化するアイコンとリンクを自在に作成。
- 数千のデータ変数とそれらのダイナミック・アイコンを管理。
- 複数のネットワーク・ビュー、オーバビュー。
- エンドユーザによるネットワーク・トポロジーの編集(接続性を維持したリンクの選択や移動、アイコンの追加や削除など)。
- 高速なズーム/パン(地図のタイリングやランタイムの最適化など)、レイヤリング。

SL-GMSDraw ダイナミック・グラフィック・エディタで柔軟性の高い GUI 画面を作成、迅速なプロトタイピングが可能

SL-GMSDraw は、SL-GMS 開発ツール各製品に共通のダイナミック・グラフィック・エディタです。動的属性を持ったグラフィック・オブジェクトならびに画面を対話的に作成し、その動的振る舞いを SL-GMSDraw エディタ内でプレビューして確認することができます。

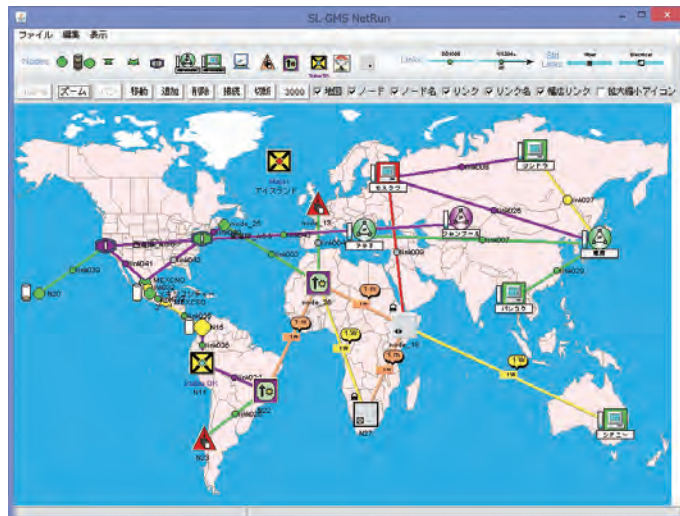
SL-GMSDraw では、固定したライブラリ・ツールでは対応できない柔軟なカスタム化を可能にしており、またアプリケーション開発から独立して GUI を対話的にプロトタイピングしながらその仕様を固めていくことができるため、要求仕様やデータ・モデルの変更にも柔軟に対応でき、アプリケーションの開発・保守において高い生産性を発揮します。

- ビットマップまたベクターで新しいノードとリンクを作成、または動的振る舞いも含めてカスタマイズ。
- ネットワーク機器を作成、または既存イメージをインポートしてカスタマイズ(動的属性の付加など)。
- トレンドなど、各種の動的なグラフィック画面を作成。
- ダイアログ、ツールチップ、強調表示など、対話インターフェースを柔軟に定義して作成。

優れたパフォーマンスと移植性

SL-GMS は、監視制御システムの厳しいリアルタイム条件に応じて長年に渡って繰り返し最適化されてきたコンパクトで高速なシステムです。また、オブジェクト指向アーキテクチャを持った SL-GMS は、UNIX, Windows, Linux, C++, ActiveX, Java, Microsoft .NET フレームワークなど、変化する環境技術への統一したソリューションを製品コンセプトとし、30 年に渡り、お客様のグラフィックス資産を守ってきました。

また、これまでの Java ソリューションでは、さまざまなグラフィックス画面を表現するための汎用クラスをダウンロードするか、またはインタプリタとメタファイルをダウンロードして実行するため、パフォーマンスが問題となっていました。SL-GMS では、長年培ってきたその描画技術とコード生成技術によって、表示するのに必要なグラフィック・オブジェクトならびに画面をダイナミックに描画して更新するよう最適化されているため、ダウンロード時間を最短にし、インターネット環境における最もコンパクトで高速なシンクライアントを実現しています。



◆記載される製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。
◆記載される内容は予告なく変更することがあります。

株式会社 SL ジャパン

〒107-0062 東京都港区南青山3-8-5 アーバンプレム南青山 3階
Tel. 03-3423-6051 info@sl-j.co.jp www.sl-j.co.jp

Real-Time Visibility